

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ:全員参加で、奉仕の理想を実現しよう!

パワー浜松ロータリークラブ(2016-17 年度 会長:近藤 雅彦 幹事:田渕 邦彦) 〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラアクトシティホテル浜松 4307 号室 Tel:053-452-0800 Email:info@power-hamamatsurc.jp

http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002 年 10 月 22 日 認証伝達式: 2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第653回例会 12月 6日 AM7:30~8:30

オークラアクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

●司会:野田みよ子 八田峰夫 髙部光司

●点鐘:近藤 雅彦

●ゲスト:株式会社加茂江屋 佐藤和宏様

浜北RC IM 実行委員長 冨永誠一様同 IM 実行副委員長 岩崎伸次様

●議事:国際奉仕部会「~家紋~千年を越えるその魅力」

〈 出席報告 〉 会員数 79名(内 出席免除会員1名) 出席数 61名 出席率 78.20%

前々回出席率 79.49%

■会長挨拶

先日の日曜日は防潮堤の植栽事業ということで多くの方にお集まり頂きまして本当にありがとうございます。準備をされたロータリー財団委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。当日、天気が心配されましたが風もなく12月としてはとても暖かい良いお天気でした。夜は雨が降るという具合で松の植栽としては本当に理想的なお天気でした。

植栽終了後、お手伝い頂いた清明寮の皆さんと昼食をとり記念品を贈呈させて頂きました。本当に素晴らしい社会貢献事業だったと思います。来年の5月に松を育てる街づくりの第2弾、東小学校100周年を記念した松の植栽事業がありますのでこちらの方も是非宜しくお願いします。

また先週は職場訪問例会という事でグループごとにメンバーの職場を訪問して頂く機会を作りましたが如何だったでしょうか?私のグループは私の会社に来て頂き会社の概要やコンクリートの作り方、商品の説明を行い簡単に工場の見学を行いました。それぞれに新しい発見があれば成功だったのではないかと思います。来年の春にもう一度予定していますので、その時も是非宜しくお願いします。

■幹事報告

皆さん、おはようございます。 第653回例会、幹事報告を致します。 1つ目は、本日レターケースに入っております配布 資料はロータリーの友12月号です。それと、2016 ~2017年度、国際ロータリー第2620地区 静岡第7分区インターシティ・ミーティングのご案内です。この幹事報告の中で、後ほど浜北RC 冨永誠一様の方からご案内して頂きます。宜しくお願いします。

2つ目は、今月12月のビュー広場のテーマが決まりました。「今年はまったもの、好きになったものは何ですか?」皆さんの今年になって年甲斐もなく、はまりすぎてしまったもの、今年に入り突然好きになってしまったもの、ご自身のエピソードをご投稿して下さい。宜しくお願いします。

3つ目は、地区大会表彰。35歳以下の正会員に、当クラブの中野雄介さんが表彰されました。



それでは、お待たせ致しました、冨永誠一様インター・ シティミーティングのご案内をお願い致します。

皆さん改めましておはようございます。只今ご紹介頂きました浜北RCの冨永誠一と申します。本年度、IMの実行委員長をさせて頂いております。本日は副委員長の岩崎伸次とIMをご案内、説明する事で参りました。宜しくお願い致します。

「眠いです」普段7時半ごろ起きるのですが今日は5時半に於きました。目覚ましを掛けまして目覚ましが鳴る前に起きました。皆さんは7分区で一番新しいクラブで7時半から例会が始まると言う事で「すごいな」と思いまして私には無理だと思いました。

今日来てみましてこれを毎週続けるのは非常に大変な事だなと思いました。パワーさんは平均年齢も若くて力があると、それといろんなアイデアを出し合って運営されている印象があります。それではIMのご説明をさせて頂きます。



今年度、生子ガバナーは会員拡大、特に女性会員をと言う事でテーマの一つとされています。それに即しまして開催させて頂きます。IMのテーマは「女性が輝くロータリー」とさせて頂きました。開催の日時は平成29年2月20日(月)です。15時半から受付、16時点鐘です。2部のパネルディスカッションは「女性活躍社会とロータリークラブの女性会員倍増について」という事で静岡放送SBS学園の鈴木美千代様をお迎え致してパネルディスカッションを開催致します。鈴木美千代さんは浜松市佐藤町の出身でテレビ・ラジオ等で長く活躍されていましたのでお馴染みの方ではないかと思います。それから、パネラーに各クラブの女性会員を推薦して頂

きました。当クラブからは奥山恵理子さんを推薦して頂きました。ここに書かれております浜松RCの鈴木美鈴さん 西クラブの中村美香保さん、浜北クラブの橋本佳代子さん、浜名湖クラブの近藤貴子さん、中クラブの木村嘉代子さん、ハーモニークラブの影山香織さん。

先日第1回目の打ち合わせを行いましたが非常に皆さんパワフルで、活発で貴重な意見を頂きました。当日も非常に期待できる有意義なディスカッションが開かれると思っております。皆様も期待してお越し頂きたいと思います。それと一番下に盆栽の写真がありますが、この盆栽は3メートルあります。これを盆栽と言ってはいけないらしく、盆栽は1メートルまでの物が盆栽で植木は植えてあるものです。これはもう1つの作品ではないかと言う事で今年の伊勢志摩サミットでも展示されました。新聞テレビ雑誌等で目にした方も多いのではないでしょうか。これをオオクラの正面ロビーに前後1週間展示する予定です。

非常に見応えがありますので是非ご覧になって頂きたいと思います。只今浜北RC会員全員で準備しておりますので多数のご参加をお待ちしております。来年1月のガバナー補佐公式訪問の時に再度ご案内をさせて頂きますので宜しくお願い致します。

■委員会報告

ゴルフ同好会 村田会員

11月23日に第52回(当年度第3回)青空例会を 開催しました。当日朝早いスタートでしたが11名が参加して下さいました。優勝は、高木一浩さん準優勝は、 龍谷義行さんでした。龍谷さんはグロス94でベスグロ を受賞しました。おめでとうございました。

次回は3月に予定しておりますので宜しくお願い致しま す

職業奉仕部会 松本会員

先週の職場訪問で訪問させて頂きましたみなさん本当にありがとうございました。大変いい経験をさせてもらったと言う声もたくさん寄せられております。会長からもありましたが2回目もありますので宜しくお願い致します。それと食事をされた方は事務局に領収書を提出して頂きたいと思います。

■スマイル

山崎益男 会員

11/25~12/1までオーストラリア・ケアンズに行って参りました。初めてのオセアニア大陸に感動致しました。現地では折角の機会の為現地で7つあるクラブの内ケアンズ・サンライズRCの朝例会に参加して来ました。プレジデント(会長)セレクタリー(幹事)ミセス・ノーマ・ロブソンさん、直前プレジデントのコル・ロウソンさんに大変お世話になったのと、パワー浜松RC事務局の高柳さんにひとかたならぬお世話になったことに心より御礼申し上げます。

松の植栽事業 小澤・村田・廣瀬・山崎 会員

クラブ事業未来夢計画「松で育てるまちづくり」防潮 堤への松の植栽活動が先日の日曜日晴天に恵まれる中、 清明寮の子供達20名、米山記念学友会10名、クラブ 会員と家族50名、総勢80名の皆さんのご参加により 240本の松が思いを込めて植えられました。浜松市から2名、正木先生初め樹木医3名とこの事業に多くの団 体が関わりをもって活動出来た事は皆様の多大なるご支援の成果と感じております。最後に全ての当クラブメン バーご家族関係者の方々に心より感謝申し上げます。有 難うございました。

奥山恵理子 会員

防潮堤、松の植樹活動を企画・実施して下さった皆様 有難うございました。新聞で素敵な「世代間交流を感じ る社会貢献活動」に心が熱くなりました。参加で出来ま せんでしたが、感謝の気持ちを込めてスマイル!

奥山恵理子 会員

12月4日の「防潮堤松植栽活動の日」欠席させて頂きましたが、・・同日にアクトシティ浜松にて「日本認知症ケア学会東海地域大会」の大会長をさせて頂きました。約900名の方々が全国からご参加頂きました。初めての大きな立場を頂きましたが、パワー浜松5周年事業をはじめ「地域における認知症を理解して頂く活動」「専門職に対する教育活動」をさせて頂いて育てて頂きましたので出来た結果と感謝しています。これからも地域社会への奉仕活動を継続したいと思います。皆様の協力があって出来る活動です。宜しくお願い致します。

安間孝明 会員

先日の植栽事業では当グレースのカレー弁当を食べて

頂き有難うございました。今後とも宜しくお願い致しま す。

福地三則 会員

11/25~11/28にインドのニューデリーに行って来ました。子供達のロボット大会WRO世界大会の視察が目的でしたがインドの中学高校大学も訪問して学校でのIT教育を見て来ました。小学生から英語を話しITの学習も取り組んでいる生き生きとした姿に胸を打たれました。すごいエネルギーにあふれた広大な国でした。ただスモッグと交通渋滞はかなり問題です。

土屋公良 会員

西尾さんより素敵なツイードのジャッケットを頂きました。有難うございます。カッコイイじじいを目指します。高貝先生、先日は有難うございました。相談してスッキリしました。以上。ロータリーっていいですね。

高木一浩 会員

11月23日に青空例会がありました。ハンデに恵まれて優勝する事が出来ました。皆さんもどんどん参加して下さい。

近藤会長・田淵幹事

株式会社加茂江屋 取締役 佐藤和宏様 本日は、早朝より当クラブの例会にお越し頂きまして誠に有難うございました。「~家紋~千年を超えるその魅力」と題して卓話を頂きました。初めて、家紋の魅力についてお話しを聞き、家紋の由来、大切さ魅力を考えるきっかけになったと思います。又私共2人の家紋について調べて頂きまして有難うございます。これからも先祖代々受け継がれて来た家紋を大事にして行きたいと思います。今後、佐藤様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げます。

富永誠一様·岩崎伸次様

IMのPRに参りました。よろしくお願い致します。

国際奉仕部会

佐藤和宏様 本日は卓話を頂き有難う御座いました。 日本独特の文化でありながら知らなかった事も多く理解 を深める事が出来ました。本日は有難う御座いました。

滝浪實 会員

小澤さんへ、清明寮の子供達にいつも愛を有難うございます。

■議事

~家紋~千年を超えるその魅力 株式会社 加茂江屋 取締役 佐藤和宏様

まず初めに加茂江屋さんの紹介をさせて頂きます。 創業明治38年 佐藤和宏様で4代目になられます。 千歳町でご商売をされておられます。それでは佐藤様卓 話をお願い致します。

皆さんおはようございます。祭り用品何でも扱い所、加茂江屋の佐藤と言います。今日はお時間頂き有難うございます。家紋の事をお話しさせて頂きます。普段は「町ゼミ」と言う街中のイベントでこの講座を開いており、お店に来て頂いてお話しをすると言う形ですが今日は僕が出向いたと言う事で大変緊張しております。早口になったら申し訳ありません。初めに言っておきますが私は日本史が大変苦手です。石の文明のエジプトやマヤ文明の方が好きで日本史には興味を持ちませんでした。仕事の中で家紋を扱う様になって少しずつ知識が入ってきているといった状況です。詳しい方には敵わないのでその点はお許しを頂きたいと思います。

先ほど会長さんから家紋の事をお話しして頂き有難うございます。浜松は浜松祭りの関係で非常に個人の家の家紋の認知度は高い地域です。初子の凧に家紋とお名前を入れるので自然に見たり調べる事も多くなります。他の地域では冠婚葬祭の時位しか目にしないそうなので、浜松の人は堂々と自分の家紋はこれだと言って頂ける様になって貰えたらと思っております。



私が家紋を扱う様になったのは商売の一つです。祭り の法被に家紋を入れるとか、お祝い返しの手拭に家紋を 入れたいと言う方がいるので家紋を取り扱う様になりました。当初は家紋帳を拡大コピーして使っておりましたが、形がずれたりするので現在はパソコンを使って 1 万 2 千種の家紋を取り扱っています。その中に自分の家紋が無い場合は手作業で作っています。これを踏まえて家紋の成り立ちの方からお話しさせて頂きます。

家紋は平安時代中期に貴族たちが自分の気に入った柄を自分の柄にしようとした事から始まりました。当時はお家を示すものではなく個人を示すものとして誕生しました。それを世襲する様になり自分の子供や孫へと受け継がれて家紋になったと言われています。当時は貴族だけだったものがなぜ世間一般に広まったかと言いますと、平安末期に皇族を巻込む戦争があり軍事衝突により解決をした事から、武将の位が上がり政治的な事にも口を出す様になって世間に広まったとされています。源氏と平家の戦の時にはまだ赤旗・白旗のみでしたが源氏が勝って統一されてから武将は個別の紋を使う様になりました。戦国時代に敵味方を選別するためとか手柄や武勇を広める効果に使われました。鎌倉幕府は武将に氏名と家紋を届け出る様に制度化していました。



ここで天皇家の紋について少しお話をします。天皇家は十六八重表菊という家紋です。パスポートに使用されているものとは少し違います。右下は内閣総理大臣の紋章です。宮家は菊の紋章を使った家紋をもっています。 江戸時代に入りますと庶民も家紋を使いだしました。当時は苗字を勝手に名乗ることは許されていませんでしたが家紋については決まりが無かったので、それぞれに思い思いの模様を自分の家の紋だよといって礼服などに使

用していました。県西部地域で見られる家紋は100個程

あります。私も仕事上ちょっと変わった家紋を目にして 見聞きすると、祖父が地方の出身だったと言う様な事が あります。また戦国武将は一つの家で一つの家紋と言う 事ではなくて、代表紋と呼ばれる紋章の他に替紋いと言 いまして複数の紋様を使っていました。

例として伊達家の物を用意しました。



今では都市の名前にもなっている仙台笹が代表紋です。 他の7つの紋は替紋になっているので正式な所以外で使われたと思われます。またここにも菊と桐の紋がありますがおそらく褒美で頂いた物ではないかと思われます。 ちなみに代表紋だけを使用していた有名所は武田家です。 また徳川家も天皇陛下より紋を頂いてますが、それを使わずに葵の家紋を使っています。将軍によって多少デザインが違うのも徳川家の特徴です。

明治維新後は家紋も趣味的な物に変わっていきます。 自分が好きだった武将の紋様を使ったり歌舞伎役者が使っていた紋様を使いました。この辺りでは見かけませんが女紋と言う紋が存在する地域があります。大阪より少し西の地域ですが、お嫁さんは実家の家紋を使用しますが嫁ぎ先に女紋がある場合はその家紋を使うそうです。

家紋も分類を細かくすると 300 ぐらいに分けられますが大きく分ければ8区分ぐらいになります。残念なことに家紋と苗字が有名な武将と同じでもその子孫であることの証明にはなりません。

今日は会長と幹事の家紋を事前に伺い調べました。近藤会長宅の家紋は丸に蔦という事で日本の十代家紋の一つになります。蔦は子孫繁栄を意味する模様に用いられます。八代将軍吉宗が蔦を使った紋様を使用していた事でも認知度が高くなっています。



それから田淵幹事宅の家紋ですが丸に木瓜ですが日本 五代家紋の一つになります。これらは地上に作られる鳥 の巣をベースに作られている事と、神社の御簾の茂候と 言う場所によく書かれていたと言う事で木瓜と言われる ようになりました。子孫繁栄と神の加護が有る様にとい うめでたい家紋になります。



この様に家紋は色々と調べられてますが現在残っている絵巻物や古文書からも調べる事が出来ます。現在日本で一番古い物は見聞書家紋と言う本です。こちらに武家の名前や家紋が載っています。それと武鑑と言う物があり、これは武将の図鑑の様な物で家系図や家紋、給料などが記載されています。

現在は色々な家紋が出来ていますが菊の紋章に関して は勝手に使ってはいけないという法律があります。

自分としては色々な家紋を勝手に作るのではなく自分の 家・家系の代表紋だけは守ってもらいたいと思っていま す。以上で終わりとさせて頂きす。本日は有難うござい ました。